

0.05 mol/L ヨウ素液 1 mL = 6.302 mg Na₂SO₃

貯法 容器 気密容器

アロエ

Aloe

ALOE

ロカイ

本品は主として *Aloe ferox* Miller 又はこれと *Aloe africana* Miller 又は *Aloe spicata* Baker との雑種 (*Li-liaceae*) の葉から得た液汁を乾燥したものである。

性状 本品は黒褐色～暗褐色の不整の塊で、外面はときに黄色の粉で覆われ、破砕面は平滑でガラスようである。

本品は特異なおいがあり、味は極めて苦い。

確認試験

(1) 本品の粉末 0.5 g に水 50 mL を加え、加温して溶かし、冷後、ケイソウ土 0.5 g を加えてろ過し、ろ液を試料溶液として次の試験を行う。

(i) 試料溶液 5 mL に四ホウ酸ナトリウム十水和物 0.2 g を加え、水浴中で加温して溶かし、その数滴を水 30 mL に滴加して振り混ぜるとき、液は緑色の蛍光を発する。

(ii) 試料溶液 2 mL に硝酸 2 mL を加えて振り混ぜるとき、液は黄褐色を呈し、徐々に緑色に変わる。また、この液を水浴中で加温するとき、液は赤褐色に変わる。

(2) 本品の粉末 0.2 g にメタノール 10 mL を加え、5 分間振り混ぜた後、ろ過し、ろ液を試料溶液とする。別に薄層クロマトグラフ用バルバロイン 1 mg をメタノール 1 mL に溶かし、標準溶液とする。これらの液につき、薄層クロマトグラフ法により試験を行う。試料溶液及び標準溶液 10 μL ずつを薄層クロマトグラフ用シリカゲルを用いて調製した薄層板にスポットする。次に酢酸エチル/アセトン/水/酢酸 (100) 混液 (20 : 5 : 2 : 2) を展開溶媒として約 10 cm 展開した後、薄層板を風乾する。これに紫外線 (主波長 365 nm) を照射するとき、試料溶液から得た数個のスポットのうち 1 個のスポットは、標準溶液から得た赤色の蛍光スポットと色調及び R_f 値が等しい。

純度試験

(1) 樹脂 本品の粉末 0.5 g にジエチルエーテル 10 mL を加え、水浴上で加温した後、ろ過し、ろ紙上の残留物及びろ紙をジエチルエーテル 3 mL を用いて洗い、ろ液及び洗液を合わせた後、ジエチルエーテルを留去するとき、残留物の量は 5.0 mg 以下である。

(2) エタノール不溶物 本品の粉末 1.0 g にエタノール (95) 50 mL を加え、還流冷却器を付けて水浴上で 30 分間煮沸し、温時に質量既知のガラスろ過器 (G4) を用いてろ過し、ろ過器上の残留物はエタノール (95) で洗液が着色しなくなるまで洗い、残留物を 105 °C で 5 時間乾燥するとき、その量は 0.10 g 以下である。

乾燥減量 12.0 % 以下 (6 時間)。

灰分 2.0 % 以下。

エキス含量 水製エキス 40.0 % 以上。

アロエ末

Powdered Aloe

ALOE PULVERATA

ロカイ末

本品は「アロエ」を粉末としたものである。

性状 本品は暗褐色～帯黄暗褐色を呈し、特異なおいがあり、味は極めて苦い。

本品をオリブ油又は流動パラフィンに浸して鏡検するとき、帯緑黄色～帯赤褐色の有角性又はやや不整の破片を認める。

確認試験

(1) 本品 0.5 g に水 50 mL を加え、加温して溶かし、冷後、ケイソウ土 0.5 g を加えてろ過し、ろ液を試料溶液として次の試験を行う。

(i) 試料溶液 5 mL に四ホウ酸ナトリウム十水和物 0.2 g を加え、水浴中で加温して溶かし、その数滴を水 30 mL に滴加して振り混ぜるとき、液は緑色の蛍光を発する。

(ii) 試料溶液 2 mL に硝酸 2 mL を加えて振り混ぜるとき、液は黄褐色を呈し、徐々に緑色に変わる。また、この液を水浴中で加温するとき、液は赤褐色に変わる。

(2) 本品 0.2 g にメタノール 10 mL を加え、5 分間振り混ぜた後、ろ過し、ろ液を試料溶液とする。別に薄層クロマトグラフ用バルバロイン 1 mg をメタノール 1 mL に溶かし、標準溶液とする。これらの液につき、薄層クロマトグラフ法により試験を行う。試料溶液及び標準溶液 10 μL ずつを薄層クロマトグラフ用シリカゲルを用いて調製した薄層板にスポットする。次にクロロホルム/エタノール (95) /水混液 (30 : 15 : 1) を展開溶媒として約 10 cm 展開した後、薄層板を風乾する。これに紫外線 (主波長 365 nm) を照射するとき、試料溶液から得た数個のスポットのうち 1 個のスポットは、標準溶液から得た赤色のスポットと色調及び R_f 値が等しい。

純度試験

(1) 樹脂 本品 0.5 g にジエチルエーテル 10 mL を加え、水浴上で加温した後、ろ過し、ろ紙上の残留物及びろ紙をジエチルエーテル 3 mL を用いて洗い、ろ液及び洗液を合わせた後、ジエチルエーテルを留去するとき、残留物の量は 5.0 mg 以下である。

(2) エタノール不溶物 本品 1.0 g にエタノール (95) 50 mL を加え、還流冷却器を付けて水浴上で 30 分間煮沸し、温時に質量既知のガラスろ過器 (G4) を用いてろ過し、ろ過器上の残留物はエタノール (95) で洗液が着色しなくなるまで洗い、残留物を 105 °C で 5 時間乾燥するとき、その量は 0.10 g 以下である。

乾燥減量 12.0 % 以下 (6 時間)。

灰分 2.0 % 以下。

エキス含量 水製エキス 40.0 % 以上。

貯法 容器 気密容器。